

私立大学図書館協会東地区研究部
2008年度第4回運営委員会議事録

日時 : 2008年7月11日(金) 15:00~17:00
場所 : 東京理科大学 森戸記念館 2階 第3会議室
出席者 : 相田勉(国土館大学)、泉宏紀(東京理科大学)、
加藤早苗(早稲田大学)、川越智之(駒澤大学)、
古山悟由(國學院大学)、佐々木真理子(共立女子大学)、
佐藤裕子(慶應義塾大学)、山下智美(帝京大学)、
丸本操、小野昭美、関達朗、久世泰子、森加奈子(研究部担当理事校・東京
経済大学)
丹治愛(東京理科大学・オブザーバー)
今村昭一(早稲田大学・研修委員長・オブザーバー)

議題 :

1. 2008年度研究会(交流会)について

研究部担当理事校より、「2008年度研究会(交流会)」(資料1)に基づいて説明があった。

- ・加盟校へ案内状を送付する旨、報告があり、了承された。

2. 2008年度夏期研究合宿(集中研究会)実施計画について

月例会担当理事校より、「2008年度研究分科会夏期研究合宿実施計画」(資料2)に基づいて説明があった。

3. 研究分科会の見直しについて

近年の研究分科会参加者の減少と継続参加率の低下等を受け、更新担当理事校より、「研究分科会の見直しについて」(資料3-1)、また、研究部担当理事校より、「新研究分科会設立の提案(私案)」(資料3-2)に基づいて提案があり、意見交換が行われた。なお、下記の意見が出されたが、結論には至らず継続審議となった。

- ・分科会の現状と今後の見通し(活動可能最少人数、他分科会との統合希望の有無等)についてアンケートを実施し、現分科会の調整を行う。
- ・非常勤職員等も分科会に参加できるよう体制をつくり、参加者を増やす。
- ・分科会に人を参加させるよう各大学図書館の管理職に要請する。
- ・経験の長い分科会代表者に今後の分科会活動の在り方について意見を求める。
- ・研究部担当理事校が提案した研修分科会と従来の分科会を並行して運営し、従来の分科会については各分科会代表者の意向を聞きつつ見直しを進める。

4．L-ラーニング学習支援システム研究分科会アンケートについて

研究部担当理事校より、「大学図書館員のためのリポジトリに関するアンケートについて」(資料4)に基づいて説明があり、了承された。

5．研修委員会からの要望(研修会開催回数)について

研修委員長より、研修会の内容・質を向上させるためにも開催回数を年度に関わらず年1回にしたいとの要望があり、検討の結果、要望どおり承認された。

・開催時期としては毎年10月の下旬を予定しており、また、会員からの要望があれば開催回数を増やすことも考慮しているとのことであった。

6．その他

月例会担当理事校より、5月26日付けで会員1名の異動があったとの報告がされた。

以上